

成果指標				
成果指標	観光入込客数			
指標設定の考え方	観光関係団体による情報発信等により、伊予市をPRすることによる観光客の誘客を図る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	1600000	1600000	1600000	0
実 績	1578591	1578143	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	関係団体と連携し、情報提供と情報収集に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	専門性を有する観光事業においては、本市のみでは充実拡充を成し得ない取組も、広域化や組織化行い連携することによって、交流や研修などを行う中で、新たな情報や観光資源の開発等につながっていくためにも、今後の継続を必要と考えられる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題